

近森病院 看護部

看護部長 吉永富美

看護人員

2023年4月に、新卒看護師43名、既卒者5名を迎え、看護師552.38名+准看護師15名、看護補助者139.69名でスタートした。退職は看護師63名で、離職率は12.2%（昨年11.5%）で目標値8.0%以下は達成出来なかった。新人看護師の離職率は18.6%（昨年4.2%）であり、新人看護師の退職が目立った。職場適応できず、休職するスタッフもあり、次年度からメンターシップ導入を検討している。

退職理由として、県内の他施設への転職が多く、業務多忙や給与面に関する意見が多かった。また、異動や奨学金の返済期間終了がきっかけになった退職も多かった。

近森病院看護部理念

「思いやりの心で、考える看護・自律した看護・つなぐ看護を実践する。」

*思いやりの心とは、相手の立場に立って考え行動し、一人一人を大切に思うことです。

近森病院看護部基本方針

1. 健康の回復と急性期看護
患者さんやご家族にとって最良の健康状態に到達できるように急性期看護をおこないます。
2. 人間としての尊厳と人権の尊重
患者さん、一人一人を大切に作る看護をおこないます。
3. チーム医療と地域連携
住み慣れた地域の中で、患者さんがその人らしい生活をできるように看護の力を発揮します。豊かな人間性と実践能力の高い専門職を目指し、自己研鑽に努めます。

今年度の取り組みとその成果

1. 2023年度近森病院看護部目標
「急性期からその人の人生を支える看護の一步を！」
急性期から患者の生活を考え、地域と連携し療養支援を行うことで患者家族に安心な看護を提供する。看護ケアを繋げることで、多忙な中でも看護スタッフ一人一人がやりがいを持って働き続けられる職場を目指す。
2. 取り組み内容とその成果
 - 1) 急性期機能の維持と質の保証
 - ① 急性期充実体制加算の取得
2023年10月に地域包括ケア病棟を同法人近森オルソリハビリテーション病院に移設し、地域包括ケア病棟（北館4階病棟）34床を急性期一般入院料1に変更した。しかし、看護師の不足から北館2階病棟25床を閉鎖し、他の病棟の看護師不足による慢性的な疲弊に人員を異動し対応したが、病棟編成を余儀なくされた北2、北4病棟のスタッフのストレスは大きかった。一方、病棟編成により充実した病棟もあったが、病棟間の協力体制が強化された。
急性期充実体制加算の要件であるがん患者の手術や療養支援を充実させるために、がん看護の研修会やがん看護院内認定看護師の育成支援を行った。
がん看護院内認定看護師5名（2023年度）
RRTは特定看護師が増員できたことにより、2024年4月から従来日中のみ活動していたのを集中治療部、ER医師の協力を経て24時間運営とする。
RRTや倫理コンサルトチーム、心不全チームの活動はCNやCNSなどのリソースナース

を中心に継続しており、地域への連携も出来ている。

② 倫理観コンサルタントチームの立ち上げ

CNS6名とMSW、医療安全専任医師にて構成
職員が医療現場で直面した様々な臨床倫理問題について相談を受け、早急に他職種チームで対応し臨床倫理的決定の支援を行う。このチームは近森病院倫理委員会の下部組織と位置付けられた。

会議 5 回開催 介入 5 事例 (2023.9~12) 症例検討会開催

③ 看護管理者の育成

- イ) 新任師長・主任研修 新任師長 1 名 新任主任 6 名
- ロ) 認定看護管理者研修ファーストレベル 5 名参加 サードレベル 1 名
- ハ) 看護師長、主任への目標管理支援
- ニ) 外部研修、学会参加支援

2) 急性期から患者、家族の療養生活を支援し、地域につなげる

① 地域連携の推進

- イ) 病床管理システムの導入 (メディサイナス) 情報の共有、退院支援の強化
- ロ) 連携施設の開拓と強化
 - 連携施設へのリソースナースの派遣 (勉強会講師やカンファレンス参加など)
 - 連携施設への看護師長の連携室スタッフと同行訪問

② 看護外来の定着

看護外来 (認知症、脳卒中、がん等) 154 件
心リハ外来 (CN による指導等) 509 件

3) 看護人員の確保と定着

① 看護師確保

- イ) 紹介制度の導入 院内スタッフからの入職の紹介を促す
- ロ) 就職フェアの開催 (5/3、11/3 の 2 回開催)
- ハ) 看護学生の実習受け入れを積極的に行った
- ニ) 退職時の支援

② 看護師定着への支援

- イ) 勤続のお祝い会開催
 - 勤続年数 10 年、20 年、30 年のお祝い会を開催
 - 好評であったが、参加者から 2 名の退職があった。
 - また、卒後 3~5 年目の退職が多いため、2024 年度は勤続数年目も対象としたい。
- ロ) WLB 調査 Google を活用し全看護スタッフにアンケート調査を行った。
- ハ) 院内副業制度導入
 - 16 名 7 部署 月平均 160 時間
 - *職種や家庭状況に合わせて業務内容を調整することで継続できている。
- ニ) 給与・各手当の見直し
 - 看護補助者、認定看護師、看護管理者、急性期手当等の見直しが出来た。
- ホ) 労務管理 下記の推進
 - ◆ ノー残業デイ (月 1 回)
 - ◆ バースデイ休暇
 - ◆ 連続 3 日 (公休含む 5 日) の連続休暇
- ヘ) 業務支援
 - ◆ おむつ交換の見直し おむつマイスターの育成
 - ◆ ベッドメイキングの外部委託検討
 - ◆ 看護手順作成・見直しの負担軽減のためシステム導入 (ナーシングスキル)
 - ◆ 入院支援システム (ポケさぼ) 導入検討
 - ◆ GE コマンドセンター導入検討

③ 専門性の高い看護師の活用と支援

イ) 教育研修

- ◆ 認定看護師教育課程 精神科看護 1名 認知症看護 (B) 1名
- ◆ 認定看護管理者研修ファーストレベル 5名
- ◆ 認定看護管理者研修サードレベル 1名
- ◆ 特定行為研修 外科基本コース 1名
- ◆ 実習指導者講習会 4名
- ◆ がん看護院内認定看護師研修 5名

ロ) 資格取得

- ◆ 精神科看護専門看護師 1名
- ◆ がん薬物療法認定看護師 (B) 1名
- ◆ 感染管理認定看護師 (B) 1名
- ◆ 心不全療養指導士 1名
- ◆ 集中治療認証看護師 1名
- ◆ FLS コーディネーター (骨折リエゾンナース) 1名

以上にて専門看護師 7名、認定看護師 14名、特定看護師 26名となった。

他に心不全療養指導士、糖尿病・腎臓病療養指導士の活躍があった。

2023 年度 QC 活動報告会

副看護部長 齊藤尚子

2023 年度は 10 部署の発表があり、近森病院からは 7 部署であった。入退院センターが優秀賞、敢闘賞が SCU、北 2 病棟が最優秀賞となった。2024 年度は看護部による QC 活動報告会は中止となり、近森会グループ学術集会のセッションとなった。看護だけでなく、多職種の QC 活動の報告を期待する。

部署	グループ名	テーマ
メンタル 4 階	ちゆ、個別性	個別性を重視した看護計画を実践して ～患者・家族が共同してケアを考える～
HCU	褥瘡減らし隊	酸素関連 MDRPU を減らすための取り組み
SCU	BRAIN ナーシングチーム	のうそっちゅう、もうしっちゅう
北 2	N2volution	変える化現象
入退院センター	PFM チーム	病棟⇒入退院センタータスクシフト
システム・業務委員	入院楽ちんバスターズ withNC	入院業務の効率化を図る
ER	アナログから脱し隊	繋げる記録を目指して ～チャートから電子カルテへ～

2023 年度教育委員会活動

近森病院 副看護部長 森本志保

看護部教育委員会では、新人看護師、2～3 年目看護師、中堅以上の看護師を対象に研修を行なっている。新人研修、急変時の予測、退院支援、実地指導者などの研修を実施した。

1. クリニカルラダー研修・ラダー認定

2023 年度はレベル I 41 名、レベル II 31 名、レベル III 4 名、レベル IV 0 名、レベル V 1 名がラダー認定された。ラダー研修への参加者は、レベル II の事例検討 32 名、看護過程 34 名、倫理 33 名、ケース発表 19 名が修了している。研修の受講率 60%、未受審者率 40%となっており、レベル 1 認定のまま止まっているスタッフも多い。次年度より近森グループの教育委員会の活動が終了となり各院での研修となるため、病院の特性を活かした研修を組み立てて行く。

2. 新人看護師研修

入職時は基本的な技術である採血、筋肉・皮下注射、点滴静脈注射などの研修を実施
集合研修は BLS、急変時の対応、倫理、看護過程などの研修を実施した。感染の状況も落ち着いており研修を中止することなく開催することができた。新人看護師の離職率が上昇し、師長や指導者に相談できない状況があり、次年度はメンター制を導入する予定である。

3. 2～3 年目看護師支援

2 年目看護師を対象として、看護師技術チェックリストと成長を支援するためにメッセージカードを贈った。未到達の項目については、3 年目まで継続して支援を行う。

4. 3～4 年目看護師支援（急変にきづく）

急変に結びつく危険な兆候について、事例を通じて学ぶことを目的に研修を行なった。感染のレベルに応じて研修を開催し受講者は 20 名であり、研修の満足度は高く実践に役立つ内容であるとの意見が多くあった。フィジカルアセスメント、早期警戒スコア（NEWS）について講義・グループワークを行なった。

5. 中堅以上の看護師への支援

退院支援の研修は、リーダーとして役割が担える看護師を対象に行い 21 名が受講した。現場で退院支援の中心的活動ができるように事例検討を主に行なった。

その他、実地指導者研修は、新人看護師を直接指導する看護師が参加し 22 名が受講した。講義、グループワークを行い、新人の頃を思い出し必要な支援を考える機会とした。

次年度の教育委員会としては、乳腺センターの開設も予定されていることからがん看護に関する研修を検討している。

○2023 年度近森病院看護部 教育委員会 研修実績

内容	日程	参加者数
実地指導者	6月30日	30名
	7月14日	27名
	8月30日	26名
	9月15日	28名
退院支援	9月7日	24名
	10月5日	22名
	11月2日	22名
急変時の対応	8月10日	30名
	9月8日	27名
	10月13日	28名
	11月10日	28名

○2023 年度近森病院看護部 教育委員会 新人看護師研修実績

内容	日程	参加者数
看護部紹介・看護協会・看護連盟・近森グループ教育・電子カルテ・感染・医療安全・看護必要度・WLB	4月3日～4月10日	43名
点滴静脈注射・採血・筋注・皮下注	4月11日	43名
BLS	5月23日、6月27日 7月25日	43名
図書・システム・放射線・検査・夜勤について	6月1日	43名
ハートコール、気管内挿管介助	8月19日	43名
看護倫理・社会人基礎力	10月5日・10月19日	39名
多重課題・タイムマネジメント・リーダーシップ	9月7日・9月21日	42名
看護課程・ケースレポート	11月2日・11月16日	38名
医療安全・褥瘡	12月7日・12月21日	36名
振り返りの会	2月1日・2月15日 3月8日	35名

2023年 看護部実績（出張 学会発表 執筆 等）

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
当院における院内救命士の思いと役割	○上總麻里子	第31回救急隊員シンポジウム	2023.1.27 広島
せん妄ケアの現状と課題 ～急性期における看護師のせん妄ケアへの意識と実際～	○明神拓也 小松有希、久保博美、 岡本充子	令和4年度高知県看護協会看護研究学会	2023.2.25 高知
医療チームカンファレンスを通し、挿管下で補助循環を装着した家族への意思決定支援を行った一例	○山崎彩虹 池澤友朗、齋坂美賀子、濱田千世	第50回日本集中治療医学会学術集会	2023.3.2～ 3.4 京都
心不全療養指導士セッション 学会認定の資格取得を考える（シンポジウム） 慢性心不全看護認定看護師と療養指導士の協働について	○久家由美	第87回日本循環器学会学術大会	2023.3.10 ～12 福岡
心不全療養指導士セッション 学会認定の資格取得を考える（シンポジウム）私たちの心不全療養指導モデル	○井上有紗	第87回日本循環器学会学術大会	2023.3.10 ～12 福岡
開腹術後縫合不全を繰り返し、人工肛門および腸管皮膚瘻を形成した患者に対する在宅復帰への取り組み	○中山和代 久松麗、上野山実瑚、安松和美	第36回中国・四国ストーマリハビリテーション研究会	2023.6.10 岡山
治療が奏功しない重症患者のQODを目指した看護実践	○池畠真由美	第19回日本クリティカルケア看護学会学術集会	2023.7.1 東京
当院の外来心臓リハビリにおける後期回復期から維持期への移行支援	○久家由美	第29回日本心臓リハビリテーション学会学術大会	2023.7.15 ～7/16 神奈川
救命救急領域における早期栄養加算に関する多職種への介入について	○池澤友朗	第26回臨床救急医学会学術集会	2023.7.27 ～29 東京
多職種によるM&Mカンファレンスの有用性について	○益大五 山中京子、山崎千紗都	日本集中治療医学会第7回中国・四国支部学術集会	2023.7.30 岡山
当院カテーテル室における空気汚染の現状調査	○吉本典子 川村峰子、山下はづき、小谷梨菜、児玉明美	第31回日本心血管インターベンション治療学会学術集会 CIVIT2023	2023.8.4～ 8.6 福岡
環境や状況が日々変化していく中で、ビジョンの鮮度を保つために看護部門が担う役割とその意義	○森本志保	第27回日本看護管理学会学術集会	2023.8.25 ～8.26 東京
手術室における地震災害対策を考える～南海地震に備えるぜよ～	○立石修久（パネリスト）	日本手術看護学会 高知区研修会	2023.9.2 高知
心不全におけるチーム医療 シームレスな心不全医療を実現する多職種連携	○久家由美	第71回日本心臓病学会 学術集会	2023.9.9～ 10 東京

講演、外部講師

題	講師	主催	開催
精神福祉法と行動制限に頼らないケア	山中俊典、溝依百世	日本精神科看護協会高知県支部	2023.1.28 Web

令和4年度潜在看護職員等復職支援研修「創傷管理の基本」	安松和美	高知県看護協会	2023.2.10 2023.6.15 2023.9.7
令和4年度潜在看護職員等復職支援研修「救急対応」	酒井由夏	高知県看護協会	2023.2.10 2023.6.15 2023.9.7
令和4年度訪問看護スタートアップ研修修了者のためのフォローアップ研修会	山本詩帆	高知県立大学	2023.2.11
生涯学習支援研修 災害支援検討委員会企画「突然やってくる災害に備えて」～様々な災害支援のプロフェッショナルと学ぶ～	山中俊典	日本老年看護学会	2023.2.23 Web
令和4年度精神障害者ピアサポーター養成（フォローアップ）研修	武田直子	一般社団法人りぐらっふ高知	2023.3.16 2023.3.17
令和5年度トリアージナースコース研究会「救急外来においてトリアージができるナース育成を目指す研究会」	酒井由夏	一般社団法人日本救急看護学会	2023.5.14 Web 2023.8.27 東京
令和5年度感染管理担当研修「感染予防対策の基礎知識、感染管理体制等」	近森幹子	高知県看護協会	2023.5.28
令和5年度多施設合同研修「フィジカルアセスメント」	池島真由美	高知県看護協会	2023.6.14 2023.6.15 2023.6.16
令和5年度多施設合同研修「救急対応」	酒井由夏、池澤友朗、齋坂美賀子、下駄場誠生、伊與田錬、吉野広樹（アシスタント）	高知県看護協会	2023.7.12～ 2023.7.14
高知県中山間地域等訪問看護師育成講座「新卒訪問看護師交流会 in Kochi」	坂本静香	高知県立大学	2023.7.15
高知県中山間地域等訪問看護師育成講座（令和5年度訪問看護スタートアップ研修）「地域と医療の連携」	山本詩帆	高知県立大学	2023.7.20
令和5年度訪問看護師研修事業「施設－在宅の移行を支援する看護師の役割と機能」	山本詩帆	高知県看護協会	2023.7.19
令和5年度訪問看護師研修事業「退院調整の実際 病院・施設内の組織化」	山本詩帆	高知県看護協会	2023.7.26
令和5年度継続教育研修「褥瘡ケアに強いナースになろう！」（基礎編）	安松和美	高知県看護協会	2023.8.2
在宅ケア認定看護師教育課程「在宅マネジメント」	山本詩帆	徳島大学大学院医歯薬学研究部 看護リカレント教育センター	2023.8.4 オンライン
地域スタッフとの連携による糖尿病患者への在宅療養支援	山本詩帆（講師） 伊與田美香（座長）	高知県糖尿病看護「土佐の会」 テルモ株式会社	2023.8.20

第46回トリアージナースコース研修会「救急外来においてトリアージができるナース育成を目指す研修会」	酒井由夏（インストラクター）	一般社団法人日本救急看護学会	2023.8.27 東京
令和5年認定看護管理者教育課程ファーストレベル「統合演習Ⅰ」	森本志保（アドバイザー）	高知県看護協会	2023.9.1～9.3 3日間
令和5年度第5回研修会 精神保健福祉法・倫理・行動制限	山中俊典	日本精神科看護学会	2023.9.2 Zoom
高知県ピアサポーター養成研修	後藤麻友	りぐらっふ高知	2023.9.23 ～ 9.24
令和5年度看護職員認知症対応力向上研修	小松有希	高知県看護協会	2023.9.24 ～ 9/25
心不全療養指導士育成研修	久家由美	九州・沖縄地域心不全療養指導士薬剤師会	2023.10.3
2023年度 中堅看護職員実務研修 —がん中期研修— 「がん患者の在宅支援」	山本詩帆	高知県看護協会	2023.10.14
Webセミナー「ハートケア エクセレンス」 拡げる繋げる心不全チーム医療～キーパーソンは薬剤師～	久家由美	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	2023.10.23
ヤングケアラーオンラインイベント	後藤麻友（パネリスト）	高知県子ども・福祉政策課	2023.10.26
023年度 中堅看護職員実務研修 —がん中期研修— 高齢がん患者の看護	岡本充子	高知県看護協会	2023.10.28
名古屋北部心不全予防地域連携会	久家由美	協和キリン株式会社	2023.11.22
「地域と医療の推進」 高知県中山間地域等訪看護師育成講座	山本詩帆	高知県立大学	2023.12.7
新人看護師を受け入れる立場から	森本志保（シンポジスト）	高知県看護協会	2023.12.9
BLS 講習	久家由美 小松有希	特定医療法人竹下会 竹下病院	2023.12
高知県循環器談話会 12月特別講演会 心不全チーム医療の取り組み ～メディカルスタッフの立場から～	久家由美	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	2023.12.20

外部委員

高知市エリア医療関連対策 地域支援ネットワーク会議	近森幹子	高知市	2023.1.18
高知市生涯教育カンファレンス	近森幹子(アドバイザー)	高知市	2023.2.16.
慢性便秘症メディカルスタッフセミナー	山中俊典（座長）	EA ファーマ	2023.2.28 高知
四国ストーリーナビリテーション講習会 実行委員	安松和美（実行委員）	四国ストーリーナビリテーション講習会	2023.4.1 ～ 2024.3.31
高知大学医学部付属病院人材育成支援センター認定看護師教育課程教員会	近森幹子（教員会委員）	高知大学医学部付属病院人材育成支援センター	2023.4.1 ～ 2025.3.31

「リカバリーカレッジ高知」	武田直子（講師） 山中俊典（コーディネーター）	高知県立大学	2022.5.27 ～ 2023.3.10
令和5年度「アディクション・フォーラム高知」	杉村多代、久保博美 武田直子、堀尾恵（実行委員）	高知県立精神保健福祉センター	2023.6～10 3回
高知女子大看護学会運営委員会	久保博美（役員）	高知県立大学	2018.7.14 ～ 2024.7.31
令和5年度高知県医療関連感染対策地域支援ネットワーク会議、高知県ICNネットワーク会議	近森幹子	高知県健康政策部医療政策課	2023.7.24
心不全患者への介入および職員への心不全療養についての指導、カンファレンス参加等	久家由美 井上有紗	特定医療法人竹下会 竹下病院	適宜
日本循環器看護学会 国際交流委員 社会貢献委員	久家由美	一般社団法人 日本循環器看護学会	2023.11.212 ～2024年度 定時社員総会 終結まで
四国ストーリーナビリテーション講習会	安松和美（運営[会計]）、講師）	四国ストーリーナビリテーション講習会	2023.9.16
がん治療の制吐療法を考える会	清遠朋巳（司会）	大鵬薬品工業株式会社	2023.9.23
高知県ピアサポーター養成研修	武田直子 後藤麻友	一般社団法人りぐらっぶ高知	2023.9.23 ～ 9.24
第54回日本看護学会学術集会 ポスター10群「患者の意向を尊重し、支える」	高橋奈智（座長）	日本看護学会	2023.9.30 大阪
高知家地域共生社会フェスタ ヤングケアラー分科会	後藤麻友	高知県子ども・福祉政策課	2023.10.7
令和5年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	山本小春（アドバイザー）	高知県看護協会	2023.10.17 2023.10.18 2023.11.2
高知県看護協会	地区理事（中央1）	森本志保〔更新〕	①2022.6.1～ 2023.5.31
	災害看護委員会	森本志保〔更新〕	
	継続教育委員	尾知美穂〔継続〕	②2023.6.1～ 2024.5.31
	研究学会委員	工藤淑恵〔継続〕	
	広報出版委員	山脇寛子	
	医療安全委員	西岡成巳	
	看護研究倫理審査委員	永野智恵	
	ナースセンター運営協議会委員	吉永富美〔継続〕	
	令和6年度選挙管理委員	田村一恵	
3職能生きる力を育むいのちの教育検討委員	尾崎貴美		

高知県看護連盟		斉藤尚子	
---------	--	------	--

看護学校等非常勤講師

近森病院附属 看護学校非常勤講師	溝依百世 堀尾恵	精神看護援助論Ⅰ
	武田直子 永尾三千 佐野理香 上田秀彰	精神看護援助論Ⅱ
	吉永富美	チーム医療
	山本詩帆	在宅看護概論
	杉村多代 山下由香 岡本しのぶ	在宅看護援助論Ⅱ
	工藤淑恵 立石修久	災害看護・演習Ⅰ
	酒井由夏	災害看護・演習Ⅱ
	濱田智恵 池島真由美 中越愛	成人看護援助論Ⅱ 周術期看護
	濱口富代	成人看護援助論Ⅱ 循環器看護
	徳留裕也	成人看護援助論Ⅱ 脳卒中看護
	岩井千代美	成人看護援助論Ⅲ 糖尿病看護
	川田愛弓	成人看護援助論Ⅲ 腎泌尿器看護
	久保博美	人間関係・カウンセリング
	岡本充子	老年看護学概論 老年看護援助論Ⅲ
	西岡成巳	医療と安全
高知中央高等学校専攻科	山中俊典	精神看護学概論
	永尾三千 堀尾恵 上田秀彰	精神看護方法論Ⅱ
	武田直子	精神看護学実践演習Ⅳ 精神看護学実践演習Ⅴ
高知県立大学大学院	近森幹子	理学療法部門管理論

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
循環器疾患を見守る 地域連携の窓口から	久家由美	HEARTnursing2 メディカ出版	2003. February . VO 136 P84-85
患者&職場満足を看護管理の力で！ 「ベッド単価UPの視点で考える病 床管理の実践」	斉藤尚子	Web教材+月刊誌 ナースマネージャー 日総研	2023年3月号 P8-13

「看護管理者のマネジメント力が活きる！ タスクシフト・シェアで進める多職種連携実践集」第2特集 序論：看護管理者のマネジメント力が活きる多職種連携のポイント	吉永富美	ナーシングビジネス9月号 メディカ出版	2023年9月号 P32-36
「看護管理者のマネジメント力が活きる！ タスクシフト・シェアで進める多職種連携実践集」	工藤淑恵	ナーシングビジネス9月号 メディカ出版	2023年9月号 P37-40
当院における実地指導者研修・支援の実際 ～「人を育てる構え」を指導し、実践の中で教えながら育てる	森本志保	主なWeb教材+画く隔月刊誌 看護人材育成	2023年10.11 月号 Vol. 20 No. 4 P29-36